

リガクは、Rome Tor Vergata 大学の国際的に認知された CBRNe プログラムとのパートナーシップを結びました。

2023年3月9日 – リガクの携帯機器製品の製造・販売拠点である Rigaku Analytical Devices は、現地代理店の [ABCS Srl](#) と共同で、Rome Tor Vergata 大学とのパートナーシップを締結し、国際 CBRNe プログラムの充実化に貢献したことを発表します。

このプログラムは [CBRN Gate](#) と呼ばれ、リガクの携帯型ラマン分光計を用いて未知の化学物質を特定し保安対策上の潜在的な脅威を回避するために世界の安全・安心に関する教育・訓練・研究活動を提供するものです。CBRN Gate は、「化学、生物、放射線、核、爆発物(CBRNe)に対する保護」というタイトルの国際マスターコースの一部で、[ローマ健康安全環境研究協会 \(HESAR\) 協会](#) の管轄です。



HESAR は、環境保護と公衆の安全・安心を高め、生活、職場、生態系の質を向上させることに重点を置いています。

国際 CBRNe プログラムは、緊急事態に対処するために、さまざまな背景を持つ市民や軍人を訓練することを明確な目標として、2009年に設立されました。このプログラムの受講生は、通常、陸軍、海軍、空軍、警察、市民保護、ファーストレスポnder（医療資格を持たない非医療従事者：介護士・社会福祉士・保育士・駅員・ライフセーバー・スポーツインストラクター・スキーパトロールほか）などの幹部です。

“NATO Selected”のステータスを獲得し、NATO Education and Training Opportunities Catalogue (ETOC) に登録されている Rome Tor Vergata 大学は、化学兵器禁止機関 (OPCW)、NATO Joint Centre of Excellence (チェコ)、NATO School of Oberammergau (ドイツ) と協定を締結しました。CBRNe マスターコースは、化学兵器の不拡散への貢献が評価され、2017年に [OPCW ハーグ賞](#) を受賞しています。

Rigaku Analytical Devices のマーケティング・プロダクトマネジメンタリーダーの Chris Langford は、「私たちは CBRN Gate プログラムに関わることができ、学生たちが現場で化学的脅威や爆発物などを迅速に特定できる最先端科学機器を実際に体験できることを非常に誇りに思っています」と述べています。「リガクの携帯型ラマン分光計という最新技術に触れることで、世界中の関係者たちが恩恵を受けることができます。」

CBRN ゲートマスターコースのコーディネーターである Andrea Malizia 教授は、「リガクとのこのパートナーシップを楽しみにしています。私たちは、CBRNe 分野に携わる人々が、自分たちを守るため、また自分たちが奉仕している人々のために、最先端のツールを利用できるようにしたいと考えています。このプログラムのおかげで、それが可能になったのです。」と述べています。

[リガクの携帯型ラマン分光計の製品群](#)は、1064nm のラマンレーザー励起をベースにしています。これにより、汚染物質、不純物、混合物をパッケージを通してスキャンし、1 分以内に結果を取得することができます。化学兵器剤 (CWAs)、TICS/TIMS、爆発物、前駆体、家庭用化学物質、麻薬などを含む膨大なライブラリを備え、世界中の主要な CBRNe 対応チームの間で選ばれているツールとなっています。

Rigaku Analytical Devices について

リガクグループの Rigaku Analytical Devices は、2011 年より米国マサチューセッツ州ウィルミントンを拠点とし、1064nm のラマン光を用いた材料分析用ハンドヘルド技術のパイオニアとして、携帯分析機器を製造・販売しています。主な製品群は、化学物質の脅威に対する安全性やセキュリティ、医薬品製造における品質管理の一環として、最も汎用性の高いソリューションを提供し、世界中で数千台が使用されています。

本件に関するお問い合わせ先

リガク・ホールディングス株式会社 広報宣伝課課長：内匠優理香

prad@rigaku.co.jp

TEL：042-545-8190